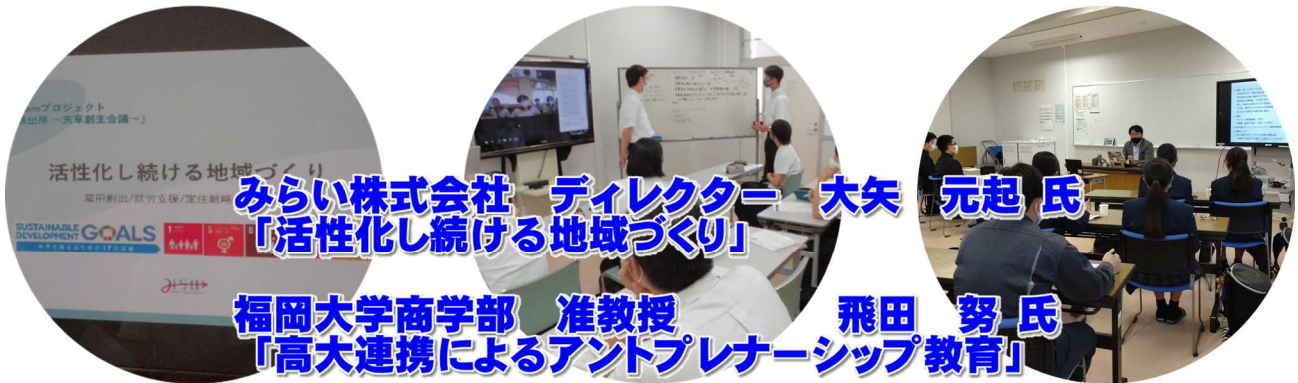


○本取組を地元高校の枠を超えて「街なか」の空き店舗で実施することで、県立高校の魅力をアピールするとともに、少子高齢化や若年層流出等により活気を失った地元商店街に活気を取り戻すこともねらいとしています。

街なか高校生派出所 ～3校合同オンライン講話～



みらい株式会社 ディレクター 大矢 元起 氏
「活性化し続ける地域づくり」
福岡大学商学部 准教授 飛田 努 氏
「高大連携によるアントプレナーシップ教育」

「宝島」と称されることもある天草の資源を生かしながら地域に活力を与えるための方策について考えるため、地方創生・地域興しに知見を持つ専門家の講話

アントプレナーシップ教育からの知見から、コントロール可能な資源を生かすことができる機会を追求するために、生活に密着した高校生による取組である「街なか高校生派出所」について考える講話



情報発信「天草工業高校HP」
amakusa-th@pref.kumamoto.lg.jp



10:30～12:30 やさしいものづくり体験

工業各科（機械科、電気科、土木科、情報技術科）がそれぞれブースを準備し、それぞれの特色を生かしたものづくり体験を行いました（機械科：キーホルダー、電気科：LEDアクリルアート、土木科：黒板アート、情報技術科：オルゴールこま）。

本生徒に手伝ってもらいながら集中して作業する子どもたちの姿は微笑ましくもあり、頼もしくもありました。

天草高校は、すぐらくやウォークラリーを自作で準備し、こちらも多くの子どもたちが楽しんでいました。



10:00～12:00 やさしいものづくり体験

11月に続き、工業各科がそれぞれの特色を生かしたものづくり体験を行いました。

先月の反省に立ち、より楽しくかんたんに体験できるよう事前準備をしておきました。10時の開始と同時に多くの子どもたちが来場し、盛況のうちに終えることができました。

天草拓心高校は、自家製のラムやベーコン、またS&P部の「あまりん焼き」を販売していました。

暑い中お越しいただいたみなさまありがとうございました。

